2012年12月17日発行
〈年3回発行〉

愛知工業大学
www.ait.ac.jp

【編集・発行】名古屋電気学園総務部広報課
〒470-0392愛知県豊田市八草町八千草1247
tel.0565-48-8177（直通）

AIT NEWS

AICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

愛工大から、いちばんHOTなNEWSをお届けします。

vol.36

愛知工業大学の経営母体である学校法人名古屋電気学園は2012年11月、創立100周年を迎えました。

大正5年頃の東新町校舎。

始まりは1912年

学校法人名古屋電気学園は、1912年(大正元年)、工業化社会の到来を予測し、そのエネルギー源として「必ず電気の時代が来る」と確信した後藤喬三郎先生によって創立された「名古屋電気学講習所」に始まりました。2012年11月、創立100周年を迎え、現在は愛知工業大学をはじめ、愛知工業大学名電高等学校、愛知工業大学附属中学校、愛知工業大学情報電子専門学校の4つの学校を擁する工科系総合学園へ発展。長い歴史と伝統を誇りに進化を続けています。

名古屋フィルハーモニーオーケストラ 愛工大名電吹奏楽部 100周年祝い協演

10月26日、学園創立100周年を記念して、愛知県芸術劇場コンサートホールで記念コンサートが開催されました。コンサートでは音楽界で高い評価を得ている名古屋フィルハーモニー交響楽団と、創部57年で昨年の二大全国大会において金賞をW受賞した愛知工業大学名電高校の吹奏楽部がそれぞれ演奏したあと、合同で総勢200人を超える大オーケストラでの演奏を披露しました。大迫力の素晴らしい演奏で約1,800人の観客を魅了し、学園創立100周年に華を添えました。

創立100周年記念式典

600人を超す来賓を迎え盛大に挙行されました。

11月13日、ウェスティンナゴヤキャッスル(名古屋市西区)で来賓627人を迎えて、学園創立100周年を祝う記念式典が行われました。後藤淳理事長が学園の100年の歴史を紹介、「『ものづくり』を学園の柱に、教育のモットーである『創造と人間性』のもと、今後も次の100年に向け頑張っていきます。」と力強く式辞を述べ大きな拍手を受けました。続いて来賓の方々からお祝いの言葉をいただいた後、名誉博士学位の贈呈式、大学同窓会・瑞若会、同後援会、高校同窓会、学園後援組織『愛名会』からの寄付金目録贈呈が合わせて行われ、最後は愛知工業大学名電高校吹奏楽部の演奏により全員で学園歌を歌って閉会しました。

『淳和(じゅんな)記念館』オープン

10月19日、学園創立100周年記念事業として愛知工業大学附属中学校、愛知工業大学名電高校のある名古屋市千種区若水に『淳和記念館』をオープンしました。学園の足跡、業績、歴史を記録として残し、100年の流れを知っていただくための「メモリアルギャラリー」をはじめ、「ものづくりエリア」や「オープンラボ」には、さまざまな実習室や化学実験室、多目的室、工作室などが設けられたほか、体育館、ホールなどが併設され、ものづくりの次代を担う子どもたちのための学びの場を設けました。

100年の歴史を物語る品々を展示

メモリアルギャラリー

淳和記念館外観

AIT発!! スマートフォンアプリ NEWS

愛工大では、日常生活や学習に役立つ様々なスマートフォンアプリケーションを開発しています。
ここでは、続々開発中のAIT発スマートフォンアプリや、その研究の一部をご紹介します!

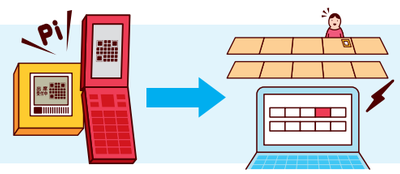
スマートフォンアプリ NEWS_中村研究室

▼中村研究室
情報科学科
中村 栄治教授

大人数授業を管理運営するためのアプリ

100名を超えるような大人数授業においても、個々の学生の着座位置と名前が特定できるとともに、個々の学生に電子棚札を通じて個別メッセージを送ったり、成績を教えたりすることのできるアプリ。他にも、協調学習をするためのグループ分け機能も備えている。

棚札のQRコードを携帯端末で読み取るしくみ。
既に講義でも活用されている。



学生が電子棚札のQRコードを携帯端末で読み取ると出席している学生の名前と着席位置などを把握することができる。

その他、小テストの点数通知や個別メッセージの通信などの機能がある。

研究室アプリ開発秘話

大人数授業では、目の前にいる学生の名前すらわからない状態で授業が進められていきます。名前だけではなく、その学生の今までの小テストや出席状況すら分かりません。どれほど人数が多くても、スマートフォンを使って、これらの情報が瞬時に分かるようなシステムがあればいいと考えたのが、開発を始めたきっかけです。今回、私たちの授業運営管理システムの開発をきっかけとして、12月27日にベンチャー企業を設立することにしました。社名は、Primary Meta Works(プライマリ・メタ・ワークス)です。(株)イシダと共同して、私たちのシステムの営業や販売・開発を行なっていく計画です。

(株)イシダとの共同開発で実現。現在特許出願中!!

スマートフォンアプリ NEWS_菱田研究室

▼菱田研究室
情報科学科
菱田 隆彰准教授

リニモ沿線をもっとよく知ろう リニモ de AR

長久手市を横断するリニモの周辺地域の情報発信、案内を行うアプリ。AR(拡張現実)を使ったイベントや施設の案内や、リニモの駅のマークをスキャンすることで、周辺の情報を表示する。愛知県が平成22年に募集した学生事業企画に採択。AppleのApp Storeにて公開中。

マーカーレスモードでは、GPSによる位置情報取得によりその場所の情報が表示される。

いつでも自習をするためのアプリ ゆびdeスタディ(ゆびスタ)

時間や場所にとらわれず自習をするためのスマートフォンアプリ。スマートフォンやタブレットに問題をダウンロードし、電波の届かない所でも、大学の専門分野の小テストが受けられる。AppleのApp Storeにて配布中。

勉強した時間を計って自信をつけよう Shake Stopwatch

自習した時間を知るために、できるだけ手軽に、意識をしないで測定できるスマートフォンアプリ。測定開始はボタン2クリック。終了は携帯を持ち上げるだけ!産学共同プロジェクトNEXT COMMUNICATION FORUM 2011アプリコンテスト敢闘賞作品。Google PLAYにて配布中。

災害時での利用を考慮した出席確認アプリ MAMSA

災害などの非常時には速やかに学生の安否確認を行い情報公開できる機能をもつ出席管理アプリ。日常では学生の学生証(非接触ICカード)を利用して出席管理を行うアプリとして利用できるため特別な訓練が要らず、災害時に起こりえる電源消失や通信路遮断などに強いという特徴を備えている。

他にも便利なスマートフォンアプリを続々開発中!

研究室アプリ開発秘話

大学のように教室の数が多く点在していて、学生がどこにいるかが分かりにくい状況でも、所在を確認する方法は無いか?というところから始まり、先の震災もあって、学生の安否をきちんと管理できるシステムを目指しました。避難訓練時で運用試験を行う時は準備が大変でしたが、成功しました。

スマートフォンアプリ NEWS_伊藤研究室

▼伊藤研究室
情報科学科
伊藤 暢浩准教授

ロボカップサッカー・チームワーク体験システム

ロボットによるサッカー競技では、チームワークの実現が大きな課題である。本研究では課題の難しさや面白さを知ってもらうために、Android端末上のコントローラを介して人間であるプレイヤーにそれを提供し、ロボットの連携プレイを体験可能とする。

ロボットサッカーの試合の様子。
このロボットをAndroidで直感的に操作できる。

タッチパネルの誤認識を防止する研究

スマートフォンは殆どタッチパネルを使って操作する。しかし人間のタッチしようとした場所とスマートフォンの認識した場所が異なる場合がある。このズレが発生する原因と解決策を模索し、スマートフォンを利用しやすくストレス無く使ってもらうことができるようにする研究を行っている。

研究室アプリ開発秘話

初めにどのような要因で誤認識が発生するかを調べ、「端末毎のズレ」、「タッチする人間によるズレ」、「持ち方などによるズレ」、「手袋やタッチペンをしたときのズレ」をそれぞれ要因としてあげ、実際にどの程度のズレが発生しているかを繰り返し実験を行いました。そして統計的な手法を用いることでズレの幅を減らし、スマートフォンで思い通りの操作ができるようになったと思います。

スマートフォンアプリ NEWS_鳥居研究室

▼鳥居研究室
情報科学科
鳥居 一平准教授

コミュニケーション支援ツール ねぇ、きいて。

http://ne-kite.com

既に世界30カ国でダウンロードされ特別支援学校を中心に大活躍中のアプリ!!

自閉症や言語障がいのある方のコミュニケーションを助ける、安価で使いやすいAAC(補助代替コミュニケーション)ソフトウェア。2011年4月にリリースし、ICTインフラを介して大学に寄せられる、特別支援学校からのデータや使用者、保護者からの要望を元に修正とバージョンアップを1年間で14回繰り返した。現在では、全国の特別支援学校だけでなく世界30カ国1万人以上の方に使われ愛用されている。

実際に教育現場でも使用されており、AppStoreレビューでも評価が高い。

研究室アプリ開発秘話

ICTインフラ、特にコンピュータネットワークを介して、使用者や保護者(障がいのある子の親が作るコミュニティー)、特別支援学校の教員、養護老人ホームからの要望や不具合、修正などをフィードバックする形でバージョンアップを行いました。これにより、切実な想いや要望をダイレクトに反映することができました。支援アプリは使用者にとって、補聴器や車椅子や眼鏡のように生活の一部であり、生活必需品です。その重要性を感じながら、開発を進めました。
大学の研究室と使用者や教育現場とが直接ICTインフラで繋がりフィードバックしながら改良し進歩していく、このフローは、特別支援教育への新たな応用の可能性を示していると考えています。

高齢者向けスケジュールアプリ あんしん

http://あんしん.com

高齢者の方が日常のなかで忘れがちな事柄を、簡単な操作で一つずつチェックできるスケジュールアプリ。携帯機器に不慣れな方でも画像と文字、音声で一日のスケジュールを一目で確認できる。また、急速な少子高齢化と共に、別居高齢者世帯も増加の一途をたどっており、ひとり暮らしの高齢者と離れて暮らす方には、「あんしんメール機能」を使えば、もしものときの状況を周りの人に知らせることができる。3日間「あんしん」を使わなかった場合、身近な人に安否確認を促す「あんしんからのメール」が届く。

子ども用スケジュールアプリ はなまる

http://hanamar.com

自閉症など発達障がいをもつ子どもたちの療育の現場からの声を活かして開発した子ども用スケジュールアプリ。画像と音声と タイルによって、わかりやすいスケジュールを簡単に組み立てることができ、目標に向かっていけるよう促す。目標が達成できるとスタンプを押し、すべて達成するとご褒美映像が流れる。この行動療法トークン・エコノミーは、自己効力感を高め、「一人でできた」という達成感を味わい、「自分でやってみよう」という意欲を高めるものである。

学内トピックスから、運動部の情報まで、
ひと目で分かる「トピックス トップ12」
2012年“秋・冬の注目ニュース“をお届けいたします。

トピックス トップ12
2012年秋冬の注目ニュース
TOPICS TOP 12

佐藤一雄機械学科教授が日本機械学会の新設部門長に就任

日本機械学会に新設された「マイクロ・ナノ工学部門」の初代部門長に、本学の佐藤一雄機械学科教授が就任しました。マイクロ・ナノ工学は、原子・分子スケールの材料工学等の基礎的な分野をはじめ幅広い領域にまたがり、医学機器からゲーム機までさまざまな分野で数多く製品化されています。長年、各部門に分散していた研究活動に対し、6年前に佐藤教授が発起人となって分野の垣根を越え「マイクロ・ナノ工学専門会議」を立ち上げ、活動してきました。その成果が認められ、今年4月に正式に学会内で21番目の部門としてスタートしました。

日本機械学会「マイクロ・ナノ工学部門」の初代部門長に就任した佐藤教授

ポーランド特別講演

本学と学術協定を結んでいるポーランド科学アカデミー・基盤技術研究所の招きで戸伏壽昭機械学科教授が9月3日、同研究所で開催された「ポーランド理論応用力学会」で、長年研究に携わっている形状記憶材料の力学特性などについて特別講演を行いました。日本の研究者が同学会で講演するのは異例。戸伏教授はポーランド人の学会員を前に約1時間にわたり講演。その後、日本における研究活動の現状も説明し、質問に答えました。なお、教授は昨年から日本人初となるポーランド理論応用力学会誌の諮問委員会メンバーも務めています。

2012ポーランド理論応用力学会で講演する戸伏教授

情報科学シンポジウム開催

本学の母体である名古屋電気学園の創立100周年を記念し、情報処理学会と共催で「情報科学シンポジウム」を10月19日、八草キャンパスで開催しました。「デジタルコンテンツ&コンシューマ機器の過去・現在・未来」をテーマに、スマートフォンなどと関わりの深いデジタルコンテンツやコンシューマ機器について、からくり人形のテクノロージーをもとに進化の過程を最新技術の現状を踏まえて紹介。各種講演に加え、本学に本年導入された高精細映像表示システム4Kを用いたメディア情報分野の教育・研究に関するデモ展示も行いました。

全学生、教職員らが参加して防災訓練

緊急地震速報を利用した防災訓練が10月24日、学園全体で行われました。訓練は今年で7回目を数え、避難から放水訓練まで本番さながらに取り組みました。紀伊半島沖で東海・東南海連動型の巨大地震が起きた想定で、本学のほか愛工大名電高校・愛工大附属中学校・愛工大情報電子専門学校の学生・生徒・教職員合わせて約5,300人が参加。各校の状況に応じた訓練に取り組みました。八草キャンパスには名古屋大学など14大学が訪れ、訓練の様子を見学。自由ヶ丘・本山の両本学キャンパスでも同様に訓練を行いました。

情報科学科によるスマートフォンを活用した安否確認

チームAIT「ETロボコン」チャンピオンシップ大会に出場

9月に行われた「ETロボコン東海地区大会」のモデル部門において、本学から参加したチームAITがIPA賞を受賞し、11月のチャンピオンシップ大会で、出場40チーム中、競技部門17位、モデル部門評価B+、総合13位の成績を収めました。ETロボコンは、組込みシステム分野における技術教育をテーマに、決められた走行体で指定コースを自律走行する競技。チームAITは藤原伸司君(情報科学科3年)を代表にシステム工学研究会の有志と水野勝教研究室の有志による合同チームで、本学の学生チャレンジプロジェクトの支援を受け活動しています。

チームAIT

情報科学科の学生6人がポスターグランプリで入賞・入選

「近未来の『日本』へのメッセージ」をテーマに作品を募集した「第3回ポスターグランプリ」に、鳥居研究室(鳥居一平・情報科学科准教授)からメディア情報研究会のメンバーが応募し、昨年を上回る6人が入賞・入選を果たしました。村山翔太君(情報科学科1年)が災害等から何度も立ち上がる日本を漢字で表現し、浮世絵風に描いた「七転八起」が中部デザイン団体協議会賞を受賞したほか、大野幸司君(同1年)、近藤由梨さん(同1年)が入賞、木下優君(同1年)、丹羽崇仁君(同4年)、長谷川直登君(同3年)が入選しました。

入賞・入選した6人

澤野研究室の学生2人の映像作品が入賞・採用

澤野研究室(澤野弘明情報科学科講師)の幅口諒君(情報科学科4年)が「久屋大通映像フェスティバル Sakae Movie Award 2012」に入賞、堀田憲司君(同4年)の制作した映像が「第12回長者町ゑびす祭り」の公式CMに採用されました。幅口君は、銀河系の外へ向け飛行するロケットを描いたCG映像を応募し、「中部映像関連事業社協会賞」に選出。一方の「長者町ゑびす祭り」については、事前に主催者から澤野講師にCM依頼があり、昨年の祭り映像をもとに山車の練り歩きなどを取り込んだ堀田君の作品が採用されました。

写真上／幅口君の作品
写真下／堀田君の作品

男子卓球部 吉村真晴選手 真の国内学生チャンピオンに!!

男子卓球部の吉村真晴選手(経営学科1年)が11月24日、25日に名古屋市北スポーツセンターで行われた『第9回全日本学生選抜卓球選手権大会』で優勝しました。また、森本耕平選手(同3年)・柴田直人選手(同2年)・加藤由行選手(同1年)の3選手もベスト8に入りました。同大会は、全日本学生選手権のベスト16に入った選手のほか、留学生選手と主管学連の推薦選手を含めて行われ、今年は留学生9人を含む27人(うち本学卓球部からは7人)が出場し、吉村選手が真の国内学生チャンピオンに輝きました。

優勝し、メダルとトロフィーを授与された吉村選手

競技スキー部 四方元幾選手 モーグルのワールドカップメンバーに

競技スキー部の四方元幾選手(経営学科1年)がスキーフリースタイル(モーグル)のワールドカップ出場選手に選ばれました。8歳からモーグルを始めた四方選手は国内外で活躍し、10月に日本オリンピック委員会の強化指定選手に選ばれ、同月のスイス遠征の結果を経て今季のワールドカップ出場選手に選出。11月には地元の田中志典犬山市長を表敬訪問し、激励を受けました。全日本ナショナルチームメンバーでもある四方選手は12月から始まるワールドカップを転戦し上位入賞を狙うと共に、最終目標のオリンピック出場を目指します。

田中犬山市長を表敬訪問した四方選手(右)

『関西学生フェンシング選手権大会』男子エペ団体の部で準優勝

男子フェンシング部が「関西学生フェンシング選手権大会」エペ団体の部で準優勝しました。本学チームは、浦林昂平選手(経営学科3年)、二宮司選手(同3年)、上野公希選手(同3年)、越水裕亮選手(同1年)で試合に臨みました。また、個人フルーレでは戸田有哉選手(経営学科3年)が8位入賞、新人戦でも越水選手が個人エペで優勝、笹井大河選手(経営学科1年)が個人サーブルで準優勝。続く「全日本大学対抗選手権」では男子エペ団体で6位に入り、12月に東京で開催される「全日本選手権大会」の出場権を獲得しました。

左から男子エペ団体で準優勝した浦林選手、上野選手、二宮選手、越水選手

硬式野球部 森下宗選手 プロ野球・広島カープ入り

10月25日のドラフト会議で、プロ野球セリーグの広島東洋カープから育成ドラフト2位で指名されていた本学硬式野球部の森下宗選手(経営学科4年)が11月9日、名古屋市内のホテルで入団交渉に臨み仮契約しました。松本有史広島スカウトから手渡された広島の帽子をかぶり、「一日も早く1軍に上がれるように頑張ります」と決意を語りました。森下外野手は176cm・76kg・左投げ左打ちで、俊足と堅い守備を活かし愛知大学野球で活躍。来年2月から宮崎県で始まるキャンプに加わり、プロ野球選手としての一歩を踏み出します。

カープの帽子をかぶり、松本広島スカウトと握手する森下外野手

PICK UP
第32回愛工大駅伝大会

好天に恵まれた11月7日、本学恒例の「第32回愛工大駅伝大会」が行われました。見事な紅葉で彩られた八草キャンパス内に設けた周回コースで、96チーム・総勢419人(学生・教職員)が、オープンコースの部、学科・専攻交流の部、選手権の部に分かれ、健脚を競い合いました。小道具をバトン代わりにしたり、ユニークなコスプレや趣向を凝らしたパフォーマンスを披露した参加者もいて、応援する人々を楽しませ大会を盛り上げました。また、近くの大畑小学校の5・6年生を招待してチームリレーも行われ、地域との交流を深めました。

優勝チーム

選手権の部	オープンコースの部	学科・専攻交流の部
ガリガリガリクソン(硬式野球部)	みいのけつ(MNC)	わしの前は走らせんぞ!!まだまだ現役じゃ(都市環境学科)

AIT STUDENT CHAPTER 12

編集長：長谷川直登
撮影・取材・ライター：
加藤大河 / 木下優 / 近藤由梨
松本悠輔

鳥研メディア情報研究会企画の「AIT STUDENT」第 12 号です。今回は新副学長鈴木達夫教授にインタビューさせて頂き、貴重なお話を聞かせていただくことができました。
さらに私達が参加した逗子市のプロジェクションマッピングのイベントの報告と鳥居研が開催する藤が丘駅で行うプロジェクションマッピングのイベントのお知らせをします。
その他にも工科展を終えての学内 3D プロジェクトの裏話も載っていますのでどうぞご覧ください。

Topic 01

鈴木達夫 副学長 単独インタビュー

今年度より就任された鈴木副学長
学生の印象や趣味などを語って
いただきました。

副学長はどのようなお仕事をされていますか？

大学は教員、職員の方々、学生諸君、保護者すなわち後援会の方々、卒業生からなる同窓会の方々などで成り立っています。教員は教育・研究、学生はカリキュラム、授業計画 , 学生生活、後援会・同窓会は教育の充実の要望、就職支援等、いろいろな要望に対して、調整させてもらっています。

⇧高校時代の副学長　バレーボールで愛知県代表としてインターハイに出場！

今の愛工大の印象を昔と比べてどう思いますか

今も昔も愛工大の学生は真面目、誠実ですよ。これは企業の方から評価して頂いています。企業の方からよく言われることですが「愛工大の学生さんは真面目だ」。もう少し別の面から見ると、“おとなしい” と。おとなしいと言われると評価が良いか悪いかは別として、僕はまあ良い方にとっているんですよ。

学生時代得意としていた分野はなんですか？

やっていた研究分野は生産管理です。企業には経営要素があって、人、モノ、金、情報のシステムをいかに最適化するかが経営システムの目標です。会社における問題解決手法について卒業研究で取り組みました。そのことが今日でも役に立っていますね。卒論で原稿用紙４５０枚書きました。熱心に真面目にやっていました。

趣味はなんですか？

いろいろもってますよ。まずはクラシック音楽が好きですね。聴くというより、クラシック音楽を集めるのが好きです。もう一つは落語かな。落語もほとんどの CD をもっていますよ。桂米朝 地獄八景とかそういうもの聴きますけどシリーズものが出ると無性に欲しくなっちゃいますね。健康面ではジョギングですね。名古屋城の外周４キロと内周１キロを走ってますね。黒川のスポーツ会館のウェイトトレーニングも通ってますよ。だから足がダルいとかはないですね。

⇧桂米朝落語大全集

座右の銘や好きな言葉はなんですか？

「一日の怠りは一日の後退につながる」これですね。一日をね、面倒くさいとかダルいとかそういう事ずっとやってるとどんどん切羽詰まって、結果的に深く考えると後退に繋がっていますね。常に意識していますよ。気持ちです。

学生に期待することコメントをお願いします。

若者は我々から見れば宝です。若者には時間があるんですよ。我々にある訳でなく若い世代にあるんです。年配だからって若い方々にあーだこーだ言う人もいますけど、学生さんは宝です。もう一つそれに加えるのなら、学生というのは、学習とそれに対する体験が必要でそれが仕事なんです。学習に対して意志と目標を持って取り組んでほしいですね。探究心や好奇心も出てくるかもしれないですし全て含めて若い人たちは突進力がある訳ですから、チャンスと言うのは必ず来ますよ。そういう事を学生さんに期待したいですね。日本の若者は期待できます。我々の立場から期待しないといけないと思いますよ。愛工大に来て良かったと思って社会に出て頂きたいですし、その準備も大学内で経験してもらいたいですね。若い人たちとの対話、交流はいいですね、お互いの思っている事を言える機会なんてありませんからね。

Topic 02

Fujigaoka Projection Night 12.22(土)

藤が丘にて クリスマスイベント開催 !!

クリスマスが近づく藤が丘の街に、メディア情報研究会が、プロジェクションマッピングの技術を駆使し、ヴァーチャル・アートの世界を創出します。地下鉄東山線とリニモを結ぶ藤が丘駅。１日の平均乗車人員は 28,519 人名古屋市営地下鉄利用者順位では、名古屋・栄・金山・伏見に続き５位です。私たちは藤が丘を学生にとっての通り道から学生たちの「活動する街」として、各種イベントを盛り上げたいと考えます。商店街と大学との商学連携は話題性も高く、多くの集客が見込めます。またプロジェクションマッピングの光はクリスマスシーズンのイルミネーションとの親和性も高く、美しい映像は藤が丘の夜の街と美しくシンクロするでしょう。

⇧逗子市でのプロジェクションマッピングの様子

プロジェクションマッピングって？

建物や立体物にプロジェクターで映像を投影し、あたかもそれが動いたり光ったかのように見える映像手法です。イベントなどで盛んに利用されています。

Zushi Media Art Festival に出展しました

私達メディア情報研究会はデジタルハリウッド大学の講義に参加させて頂いた際にプロジェクションマッピング協会の石多未知行さんと交流をもち、それをきっかけに神奈川県の逗子市で行われるプロジェクションマッピングのイベントに参加させていただきました。
このイベントは逗子小学校の壁に１分間のプロジェクションマッピングを行いギャラリーの投票でグランプリを決めるコンペティションです。国内外から 22 作品が出展されそのなかで私達の作品は６位になりました。次回はさらに上の順位を目指して頑張りたいです。

⇧順位表 (オーディエンス順位で６位)

Topic 03

工科展最優秀賞獲得 学内３D 化プロジェクトの 裏側！

学内全てを 3D 化するプロジェクト。この度昨年より続いていた学内の 28 棟のモデリングが終了しました。10 月 6 日 ,7 日に行われた工科展にむけてポスターとアニメーション 3D プリンターを使用して作成された１号館の模型を発表し最優秀賞を獲得しました。

画像１枚のレンダリングに３時間

モデリングしたオブジェクトを画像で書き出す“レンダリング”。愛工大の棟全てをまとめたファイルは大容量で通常ならば 10 分くらいで終わるレンダリングも３時間かかってしまいます。その為ラボにある

MAC を２０台同時にレンダリングさせる必要がありました。

疲労困憊！ ４泊５日の愛工大

工科展発表前の４日間、メンバーの一部は泊まり込みでレンダリングやプレゼンの練習を行いました。大容量で処理に時間がかかったりと、工科展直前まで作業が続きました。

今回の努力が実り工科展最優秀賞という結果で終えることができて本当に良かったと思っています。

１号館の模型は当日完成した !?

機械科の３D プリンターを使用して１号館の模型を作成し発表しました。しかしこの使用した３D プリンターは CAD データを読み取ってプリントするもの、※MAYA とは概念が異なり何度もファイル形式の変換を行いました。二回の試作の後、工科展当日に完成品が出来上がりました。

⇧１号館の模型

今後の展開

今後このプロジェクトは防災に指針を向けて活動します。今回のモデリングデータを元に 3D プリンターで全棟を模型として出力し、ジオラマを作ります その上にプロジェクションマッピングで映像を投影し、災害時の避難誘導や災害シミュレーションに役立てていきたいと考えています。

こちらの URL より発表したムービーをご覧になれます

http://www.youtube.com
/watch?v=YSCbKfl3IAo&feature=youtu.be

※MAYA とはハリウッドをはじめとする映像現場で使われているプロ仕様の 3DCG ソフトのこと

編集後記

９月 25 日のキックオフから「AIT STUDENT」の制作が始まりました。翌日からデザインの構想やレイアウトを決めていき、11 月に鈴木達夫副学長にインタビューをしました。インタビューを通じて副学長から大学教育における熱意を感じました。お忙しい中インタビューに応じていただき、本当にありがとうございました。今回の「AIT STUDENT」に協力して下さった皆様にこの編集後記の場を借りて改めて御礼申し上げます。

大学祭・工科展
秋のオープンキャンパス

好天に恵まれ多くの来場者で賑わいました

10月6日、7日を中心に八草キャンパスで愛工大祭が開催されました。

今年のテーマは『ダイブ』。愛工大祭に飛び込んできてほしい！との願いからつけられたテーマの通り、たくさんの来場者で賑わいました。

にぎやかな呼び込みで雰囲気を盛り上げた模擬店

後夜祭

おたキングZ

ステージイベントでは、お笑いや歌、ダンス、クイズなどさまざまに趣向を凝らしたプログラムが行われました。昨年好評だった『おたキング』をさらにバージョンアップして行われた『おたキングZ』には思い思いのコスチュームに身を包んだ来場者が集まり、大いに会場を盛り上げました。

また、愛工大祭のメインイベントでもある恒例の工科展では、各研究室や同好会、学生チャレンジプロジェクトなどの日頃の研究発表が行われ、成果を競い合いました。人力飛行機同好会のブースでは今年参加した鳥人間コンテストでの飛行の様子を映像で流し注目を集めたほか、3DCGソフトのMayaを使って学内全体の3DCG化に成功しその映像を公開した、メディア情報研究会の学内3D計画(Maya倶楽部)が最優秀賞を受賞しました。

学生たちの手作りマシンに来場者も興味深々

秋のオープンキャンパス

6日には秋のオープンキャンパスが同時開催され、会場となった1号館1階のカフェ・ド・クリエの前には順番を待つ長い列ができ、愛工大への関心の高さをうかがわせました。

受験生や保護者は熱心に入試センター職員の話に耳を傾けたあと、学食体験や愛工大祭、工科展などにも足を運び、大学の雰囲気を体感していました。

秋のオープンキャンパス　長蛇の列

キャリアセンターニュース　学部系統別就職率ランキング

本学のキャリアセンターと各専攻就職担当教員との連携によるきめ細かな就職指導は国内屈指の高い就職率となって実を結び、2012年の学部系統別就職ランキング(サンデー毎日8月12日号掲載)で愛知工業大学は理工系学部で全国で11位(92.9%)、商・経営系学部で全国8位(87.7%)という結果※となりました。

10月31日～11月2日には、八草キャンパスのキャリアセンター内レンタルスペースで、『学生と企業の懇談会』が行われました。参加した学生たちは、直接、企業と話ができる貴重なチャンスを有効に使おうと、日頃の就職活動での取り組み方や方向性についてのアドバイスなどに真剣に耳を傾け、熱心に質問していました。11月には、『企業履歴書の判定会』、『企業面談会』なども行われ、企業側の協力も得て履歴書の書き方や模擬面談を実際に行いさまざまなレクチャーを受けることができる機会を設けたほか、今年初の試みとして外部講師による『第一印象向上講座』も開催。自信をもって就職活動に取り組めるようバックアップしています。

最新の求人情報などもどんどん公開しています。いつでも気軽にキャリアセンターへ足を運んでみてください。

※就職率＝(就職者数÷〔卒業(修了)者数－大学院進学者数〕)×100

後期スケジュール　Schedule

12月 December

24日(月)	授業終了
26日(水)	冬季休業開始

1月 January

6日(日)	冬季休業終了
7日(月)	授業開始
26日(土)	後期授業終了
30日(水)	後期試験開始

2月 February

14日(木)	春季休業開始
14日(木)・15日(金)	学内企業展(愛名会)
26日(火)・27日(水)	学内企業展(一般)

3月 March

23日(土)	卒業式
31日(日)	春季休業終了

Information

学校法人　名古屋電気学園

創立100周年記念募金　御礼とご協力のお願い

100TH ANNIVERSARY SINCE 1912 学校法人 名古屋電気学園

学園は本年創立100周年を迎え、将来に向けて一層の教育環境の整備・充実を行うため、「淳和記念館」建設(名古屋市千種区若水)、大学教育設備の充実等の記念事業を行っています。
この事業の費用の一部に充てることを目的として、学園は、現在募金活動を行っています。
この募金に既にご協力いただきました方には、紙面を借りましてあらためて御礼を申し上げます。
これからの方につきましては、何とぞ、この募金事業の趣旨にご賛同のうえ、ご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

●寄付金の種類
(1)法人／1口の金額は特に定めていません。
(2)個人／一般篤志家、同窓生、教職員等・・・1口1万円
在校生の父母・・・・・・・・・・・・・・1口5千円
できれば、多数の口数のご協力をお願いいたします。

●寄付金の減免税措置
(1)法人／法人税の申告時に、ご寄付いただいた金額の全額を、損金に算入することができます。
(2)個人／確定申告することにより、寄付金額から2千円を差引いた金額が、当該年の課税所得金額から控除されます。

●お問合せ窓口
名古屋電気学園創立100周年記念募金事務局　電話 0565-48-8711 (代表) 内線3117
メールアドレス bokin@aitech.ac.jp

●AITnewsは瑞若会(愛知工業大学同窓会)・後援会より支援を受けており、瑞若会・後援会の年度予算から制作費の一部が拠出されています。